

ドームに響く大声援

決勝まで続いた熱い戦いには、毎試合、大勢の市民の皆さんがうちわを手に大声援を送り、スタンドは黄色の海に。市民応援バスも5試合で延べ53台を運行し、約2,200人の市民応援団が東京ドームへ応援に駆け付けました。

また、チームを鼓舞し選手を勇気づけた西濃運輸応援団には、主催者から応援団コンクールの優秀賞が贈られました。

芭蕉姿に扮した小川市長も、市マスコットキャラクター「おがっきい」と「おあむちゃん」と一緒になって、応援席を盛り上げました。



肩を組み得点を喜ぶ応援団



スタンドで、応援席を盛り上げる小川市長ら



スタンドを埋め尽くし熱い声援を送る市民応援団

決勝戦をPV(パブリックビューイング)

優勝をかけた大一番を、市民一丸となって応援しようと、情報工房でパブリックビューイングを実施。

市民ら約500人が集い、迫力ある200インチの大型スクリーンで、試合の行方を見守りました。



優勝が決まり、大いに沸きあがる会場

立ち見まで出た会場は、ドームに負けない熱気に包まれ、優勝の瞬間には大きな歓声が上がりました。

優勝報告会 & 祝賀パレード



特設ステージで、市民ら前に優勝を報告する林監督

8月3日に、大垣駅通りで優勝報告会と祝賀パレードが開かれました。

優勝報告会では、小川市長のあいさつの後、林監督と麻生主将に花束を贈呈。野球部を代表し、林監督が市民の皆さんに優勝を報告すると、会場には大きな拍手が沸き起こりました。来賓のあいさつに続き、高橋市議会議員が音頭を取った万歳三唱で会が締めくくられると、選手・監督らによるパレードがスタートしました。

沿道には、約1万6,000人の市民が駆け付け、「おめでとう」「ありがとう」と激闘を勝ち抜いたチームを祝福。選手らとともに、悲願の初優勝の感動を分かち合いました。



駅通りを誇らしげに進む選手ら

予選・本選ともに負けなし 完全勝利で大会制覇

東海2次予選大会 第1代表決定トーナメント

岡崎市民球場

- ▶ 1回戦【5月23日】 2 - 1
対 三菱自動車岡崎(岡崎市)
- ▶ 2回戦【5月26日】 4 - 0
対 ジェイプロジェクト(名古屋市)
- ▶ 準決勝【5月29日】 5 - 4
対 Honda鈴鹿(鈴鹿市)
- ▶ 決勝【6月1日】 10 - 7
対 新日鐵住金東海REX(東海市)



予選4連勝で19年ぶりの第1代表

東京ドームでの本大会

- ▶ 初戦(2回戦)【7月22日】 5 - 2
対 東芝(川崎市)
- ▶ 3回戦【7月24日】 4 - 2
対 三菱重工神戸(神戸市)
- ▶ 準々決勝【7月27日】 7 - 1
対 東京ガス(東京都)
- ▶ 準決勝【7月28日】 6 - 1
対 JX-ENEOS(横浜市)
- ▶ 決勝【7月29日】 2 - 0
対 富士重工業(太田市)